

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 県民ふれあい会館設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2458)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 523,897千円 (前年度予算額：295,016千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県債	一般 財源
前年度	295,016	0	0	0	0	0	0	265,500	29,516
要求額	523,897	0	0	0	0	0	0	0	523,897
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 開館時に整備された排煙設備は設置後28年が経過し、法定耐用年数(8年)も大幅に超過している。排煙設備は火災発生時に煙を逃がし、被害拡大を防ぐための重要な設備であり、有事には人命にかかわることとなるため、不具合の指摘のある設備について改修が必要となる。
- 製造後約29年が経過しているゴンドラ設備は、各種部品の経年劣化が進行している。高所作業に用いる当該設備の不具合は、ゴンドラの落下や誤動作に繋がる可能性もあるため、作業員や利用者の安全確保のためにも、部品の交換等を適時に行わなければならない。
- 開館時に整備された吊物設備は設置後28年が経過し、経年劣化による損耗が激しく、故障するものが出はじめている。当該設備がコンサート中に故障すると、貸与者に対する責任問題や音楽家に対する信用失墜にも繋がるため、円滑なホール運営のためにも早急な修繕が必要となる。
- 県民ふれあい会館は建設後28年が経過し、屋上防水も機能が失われつつあり、大雨の際は各所で雨漏りが発生している。これ以上状況が悪化すると、ホールや貸会議室、あるいは入居団体の事務所機能などにも支障が生じるため、改修が必要となる。

- ・ 県民ふれあい会館の照明設備は蛍光灯を中心に電球や水銀灯などが設置されている。しかし、岐阜県温室効果ガス排出抑制率先実行計画の策定により、高効率設備への転換が求められており、照明のLED化は喫緊の課題となっている。大規模な工事のため、工事に先立ち実施設計を実施する。
- ・ 開館時に整備されたボイラー設備は設置後28年が経過し、法定耐用年数（15年）も大幅に超過し更新が必要となっている。当該設備は開館時の設計により大規模な設備が整備されているが、現在の運用状況に基づき、省エネと経費節減も勘案して小規模な給湯設備を代替設備として設置する。
- ・ 開館時に整備された昇降機設備は設置後28年が経過し、法定耐用年数（17年）も大幅に超過している。設備が古くエネルギー効率も悪い他、重要部品が令和5年度末に製造終了となるなど計画的な更新が必要となっている。規模も大きいいため、令和4・5年度の2カ年に分けて更新を行う。

（2）事業内容

- ・ 排煙設備等改修工事
- ・ ゴンドラ設備修繕工事
- ・ 吊物設備等修繕工事
- ・ 屋上防水改修工事
- ・ 照明設備（LED化等）改修工事実施設計業務
- ・ 個別給湯設備設置工事
- ・ 昇降機設備改修工事

（3）県負担・補助率の考え方 県 10/10

（4）類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	413	・屋上防水改修工事、照明設備改修工事实施設計業務（事務費）
燃料費	100	・屋上防水改修工事、照明設備改修工事实施設計業務（事務費）
役務費	100	・屋上防水改修工事、照明設備改修工事实施設計業務（事務費）
委託料	20,095	・照明設備(LED化等)改修工事实施設計業務 ・屋上防水改修工事監理業務
工事請負費	503,189	・排煙設備等改修工事 ・ゴンドラ設備修繕工事 ・吊物設備等修繕工事 ・屋上防水改修工事 ・個別給湯設備設置工事 ・昇降機設備更新工事
合計	523,897	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定予定

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は令和2年度までに個別施設ごとの長寿命化計画を策定することとなっている

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 - ・排煙設備を改修し、火災発生時の利用者及び職員の安全を確保する。
 - ・ゴンドラ設備を修繕し、メンテナンス時の設備の安全を確保する。
 - ・ホールの吊物を修繕し、ホールの円滑な運営を担保する。
 - ・屋上防水を全面的に改修し、漏水を防止し快適な施設環境を担保する。
 - ・照明設備の次年度以降の改修に向けて、実施設計を行う。
 - ・給湯設備及び昇降機設備を省エネ性能が高い設備に更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

施設の改修に係る業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 自動火災報知器等更新工事第2期、直流電源装置更新、空調用インバーターの更新など、様々な設備修繕を行った。これらにより会館利用者に安心・快適に施設を利用いただける環境を整備した。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>指定管理制度を導入するにあたり、施設の大規模改修等については、県の負担とされている。 (負担区分：修繕：60万円以上、備品：10万円以上は県負担)</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>計画的に修繕を実施することで、故障時の対応が容易にでき、公演休止やホールの休館等を防ぐことができる。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位を聴き取りながら、計画的に実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化がすすむ中で、要修繕事項が増加してきている。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設備の劣化状況に鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模な改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	